

# 製品安全データシート

作成:2023/07/04

## 1. 化学品及び会社情報

### 製品名

PrismGuide™ IRD パネル システム

PrismGuide™ IRD パネル キット

IRD NGS Index Plate

### [構成試薬]

1) Index PCR Primers Set 1

2) Index PCR Primers Set 2

### 供給者の会社名称

シスメックス株式会社

### 住所

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1 丁目 5 番  
1 号

### 緊急連絡先

シスメックス株式会社 テクノパーク

〒651-2271 神戸市西区高塚台 4 丁目 4 番地の 4

TEL: (078) 991-1911(代表)

FAX: (078) 991-1917

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類

物理化学的危険性 区分外

健康に対する有害性 区分外

環境に対する有害性 区分外

### GHS ラベル要素

危険有害性を表す絵表示 該当なし

注意喚起語 該当なし

危険有害性情報 該当なし

### 注意書き

安全対策 該当なし

応急措置 該当なし

保管 該当なし

廃棄 該当なし

他の危険有害性 該当なし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の區別	混合物
危険有害成分	該当なし
化学名又は一般名 濃度(範囲)	該当なし
CAS番号	
化審法 官報公示整理番号	該当なし
労働安全衛生法 官報公示整理番号	該当なし
化管法 政令番号	該当なし
毒物・劇物の別	該当なし

#### 4. 応急措置

吸入した場合	気分が優れない場合は、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合は速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	眼に直接接触した場合は、清浄な流水で十分に洗眼し、必要なら医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水でよく口内を洗浄し、気分が優れない場合は医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	特に必要なし
応急措置をする者の保護	特に必要なし
医師に対する特別な注意事項	特に必要なし

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	火災に応じた消火剤を使用する。(水、粉末、泡、炭酸ガス)
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	火災の時に分解され、有毒な煙を発生する：窒素、硫黄及び炭素の酸化物が生成される可能性がある。
特有の消火方法	情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火活動を行う者は自給式呼吸器を含む完全な保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	誤って試薬をこぼした場合は、保護具を着用し試薬が飛び散らないようにペーパータオルなどで静かに拭き取る。拭き取った後は、次亜塩素酸ナトリウム溶液(有効塩素濃度 1.0%以上)で浸すように拭き取り、その後水拭きする。人体への措置は特に必要ない。
環境に対する注意事項	漏出した物質や流去水の拡散、及び土壤、水路、排水溝下水道への大量排出を回避する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、ウエス、雑巾等でよくふき取り適切な廃棄容器に回収する。さらに、流出した場所を水で洗う。

<b>二次災害の防止策</b>	情報なし
<b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>	
<b>取扱い</b>	
<b>技術的対策</b>	正しく測定するために電子添文をお読みください。
<b>安全取扱注意事項</b>	適切な個人保護具を使用する。
<b>接触回避</b>	摂取してはならない。眼、皮膚及び衣類に接触しないようにする。蒸気や噴霧の吸入を避ける。使用しないときは元の容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。容器を再利用してはならない。
<b>衛生対策</b>	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。飲食又は喫煙の前に手を洗う。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐ。
<b>保管</b>	
<b>安全な保管条件</b>	試薬外装箱又は電子添文に記載の条件で保管してください。
<b>安全な容器包装材料</b>	情報なし
<b>8. ばく露防止及び保護措置</b>	
<b>管理濃度</b>	情報なし
<b>許容濃度</b>	
<b>日本産業衛生学会</b>	情報なし
<b>ACGIH</b>	情報なし
<b>設備対策</b>	全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。
<b>保護具</b>	
<b>呼吸用保護具</b>	通常、呼吸用保護具は必要ない。
<b>手の保護具</b>	適切な手袋を着用する。
<b>眼、顔面の保護具</b>	液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用する。
<b>皮膚及び身体の保護具</b>	適切な保護衣を着用する。
<b>9. 物理的及び化学的性質</b>	
<b>物理的性状</b>	
<b>物理状態</b>	液体
<b>色</b>	無色
<b>臭い</b>	無臭
<b>融点・凝固点</b>	0 °C(類似する物質との類推によるもの:水)
<b>沸点又は初溜点及び沸騰範囲</b>	100 °C(類似する物質との類推によるもの:水)
<b>可燃性</b>	該当なし
<b>爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界</b>	該当なし
<b>引火点</b>	データなし

---

自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7 ~ 8
動粘性率	データなし
溶解度	水に溶解
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	23 hPa(類似する物質との類推によるもの:水)
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし

---

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱いで安定。
化学的安定性	通常の取扱いで安定。試薬としての安定性は電子添文をお読みください。
危険有害反応可能性	通常の保管及び使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

---

#### 11. 有害性情報

急性毒性	毒性はない
皮膚腐食性/刺激性	刺激性はない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	刺激性はない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類なし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	分類なし
その他的情報	特になし

---

#### 12. 環境影響情報

生態毒性	水生生物への毒性が低い。
残留性・分解性	この製品は生分解される。
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	水に溶解するため、土壤中で移動性が高いと予想される。

オゾン層への有害性	情報なし
他の有害影響	情報なし

#### 13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。又は、リサイクル業者に委託する。

#### 14. 輸送上の注意

##### 国際規則

国際航空機輸送協会危険物規則 輸送危険物に該当しない  
国際海上危険物規則 輸送危険物に該当しない  
MARPOL73/78 附属書Ⅱ 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 非該当

##### 国内規制

海上規制情報 輸送危険物に該当しない  
航空規制情報 輸送危険物に該当しない  
陸上規制情報 輸送危険物に該当しない  
輸送の特定の安全対策及び条件 容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下損傷のないように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。

#### 15. 適用法令

##### 適用される法規制

労働安全衛生法 非該当  
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) 非該当  
毒物及び劇物取締法 非該当  
化審法 非該当  
消防法 非該当  
大気汚染防止法 非該当  
水質汚濁防止法 非該当  
水道法 非該当  
下水道法 非該当  
海洋汚染防止法 非該当  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 非該当

#### 16. その他の情報/Other Information

##### 一般的注意

ここに記載された情報は、システムズ株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。  
また、本キットの詳細な使用方法や注意事項等については電子添文を参照してください。

---

<b>その他の情報</b>	[注意] 本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。
<b>略語、頭文字の意味/凡例</b>	化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 安衛法: 労働安全衛生法
<b>データの主要な文献参照と出典</b>	情報なし

---